

JR東海労ニュース

No.1078

2008年7月29日

JR東海労働組合

職場問題を解決しよう！シリーズ④

社員が**熱中症**！ 救急車で運ばれる！

検修庫の暑（熱）さは異常なものである。新幹線地本はこの間幾度と対策を申し入れてきたが、会社の対策は、勤務中にはナメられない、しかも「配給」に印鑑が必要な「熱中飴」がたったの一袋である。そして7月24日、とうとう東京第二車両所で社員が熱中症で病院に運ばれた。夏の暑さはこれからが本番だ。このままではいったい何人倒れるか計り知れない。

新幹線地本は、このような会社の不十分な対策を放置せず、乗務員の熱中症対策を含め申し入れを行った。

- ◎ 交番検査・仕業検査・修繕班の作業者が作業途中でも十分な水分補給ができるように、作業場所に冷たい飲み物（麦茶等）等を会社の責任で用意されたい。
- ◎ 交番検査の各ユニットの作業場所にペットボトルを冷やせる小型冷蔵庫を設置されたい。
- ◎ 「熱中飴」が熱中症対策という事であればこれらの条件及び制約を撤廃されたい。
- ◎ 乗務員が車内において業務を行う場合は、制服上着及びネクタイの着用を省略できるようにされたい。
- ◎ 乗務員に新たに夏季用接客開襟シャツを支給されたい。（要求事項の要旨）

我慢は危険！私たちと共に声を出そう！！

新幹線地本が熱中症対策について申し入れ